

# 2018年度

## 中国留学報告書

実習先：北京師範大学

実習期間：8月27日（月）～1月7日（月）

新潟国際情報大学

国際文化学科

学籍番号：21017068

新保 拓人

# 目次

1	留学先及び実習期間	3
2	留学先概要	3
3	留学目的	3
4	留学内容	4
4-1	留学のスケジュール	4
4-2	留学の詳細	4
5	所感	5
6	おわりに	5
	謝辞	6

# 付録

	留学日誌	6
--	------	---

## 1 留学先及び実習期間

留学先：北京師範大学 漢語文化学院

実習期間：平成30年8月27日（月）～平成31年1月7日（月）

※帰国は1月7日（月）

## 2 留学先概要

### （1）大学について

北京師範大学は北京の海淀区に位置する。海淀区は約220万人が在住しており、多くの大学が密集している都市である。北京師範大学は北京大学、精華大学、中国人民大学とともに北京四大大学とされている大学のひとつで、22の学院、6の学部、14の研究所を有する総合大学である。大学内には図書館、体育館、運動場、テニスコート、バスケットコートなどの多くの施設が完備されている。また、多くの留学生を受け入れているため、留学生寮や食堂などの施設が充実している。そして北京の中心に位置しているため、公共施設の利用や、街並みや史跡の見学、観光にも大変便利である。

### （2）大学で行われている教育について

北京師範大学は多くの留学生を受け入れていることに特徴がある。留学生は、事前に行ったテストによって6段階のクラスに分けられる。中国語を1から学ぶことができるクラスから、レベルの高い中国語を学ぶことができるクラスまで幅広く存在する。これによって自分のレベルに合った中国語の授業を受けることができる。クラスは10人程度の少人数で構成されており、より充実した環境の中で学習を行うことができる。北京師範大学での成績は新潟国際情報大学の単位へと換算される。

## 3 留学目的

今回の留学の目的は、中国語におけるスピーキング能力とリスニング能力の向上である。中国語の学習において、これら2つの能力はほかの能力と比べると苦手と感じる部分であり、授業以外で中国語を使用しない日本では、特にスピーキング力については身に付かないと感じた。これらの能力を向上させるためには、中国に留学に行き実際に中国語を母国語とする人たちと接することで、より正確で生きた中国語を学ぶことができると考えた。また、留学は語学だけではなく、その国の文化を学ぶことができる。中国人や留学生との関わりを通じて、他国の文化や視点、価値観を肌で感じ、異文化理解を学ぶことを目標とした。

## 4 留学内容

以下から留学の内容を記述する。

### 4-1 留学のスケジュール

留学期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日(曜日)	
8	27(月)	到着 入寮
	28(火)	入学手続き
	30(木)	クラス分け試験
	31(金)	入学式
9	3(月)	授業開始
	8(日)	日中交流会
	22(土)	内モンゴル旅行
	23(日)	
	24(月)	
10	1(月)	国慶節
11	1(木)	中間試験
	2(金)	
	10(土)	HSK 試験
	12(月)	研修旅行 江西省
	13(火)	
	14(水)	
	15(木)	
	16(金)	
	17(土)	
25(日)	日韓交流会	
12	16(日)	北京の夜
	27(木)	期末試験
	28(金)	
1	4(金)	修了式
	7(月)	帰国

### 4-2 留学の詳細

#### i) クラス分け試験

中国語のレベルに合わせてクラス分けを行うための試験。筆記試験と口頭試験がある。

ii) 日中交流会

北京師範大学の日本語学科の中国人と交流する。お互いに出し物を用意し披露した。

iii) 内モンゴル旅行

中国北部に位置する内モンゴル自治区に旅行に行く。

iv) 研修旅行 江西省

漢語文化学院主催の研修旅行である。歴史的建造物や世界自然遺産を見学、観光する。

v) 日韓交流会

北京師範大学の韓国人学生と運動会を通して交流を深める。

vi) 北京の夜

各国の留学生が伝統的なダンスや歌を披露する大学内のイベント。

## 5 当初目的・目標への達成度

今回の留学の目的の達成度について、それぞれまとめる。

i) 中国語能力の向上

留学当初は今まで習った中国語が咄嗟に出てこず、伝えたいことを伝えることが困難であったが、4か月間日本語のない環境に身を置けたことで、語学能力は確実に向上したと考える。留学当初には聞き取れなかった周囲の中国語も理解できるようになっていた。また、留学期間中、HSK4級に合格することができた。

ii) 国際交流

日中交流会で仲良くなった学生と北京市内を観光したり会話をしたことによって、中国人から見た中国について理解することができた。クラスは留学生のみで構成されるため、様々な国の学生と交流することができた。授業では自国の文化や風習について中国語で紹介することもあり、他国の文化や慣習を理解することができた。また、クラスの学生同士で将来は中国語を使用して仕事をするのかを話し合い、将来について考えるいい機会となった。

## 6 反省・課題

クラスでは消極的になってしまい、自分の意見を伝えられるようになるまで非常に苦勞し、クラスに馴染むまでに時間がかかった。課題としては、中国語力の低下が挙げられる。留学中よりは確実に中国語と離れてしまうこととなるので、中国語を忘れないために、そしてより語学力を伸ばすために日々勉強を続けていきたい。4か月という短い期間

であったが、いままでの人生の中でも特に非常に充実していた4か月であった。今回の留学で学んだ経験を活かし、価値観にとらわれず、広い視点から物事を理解し、柔軟な考えを持てるように精進していきたい。

## 謝辞

今回の留学で、北京師範大学にて私たち留学生のお世話をしてくださった黄薇さん、その他大勢の関係者の皆様に深く感謝申し上げます。また、本学の中国留学担当で2018年度前期の授業、留学のサポート、帰国後の活動への指導を賜りました、佐藤若菜先生、區建英先生には心より感謝いたします。最後に、新潟国際情報大学からいただきました奨学金により、派遣留学参加が実現し、貴重で有意義な体験ができたことを、心から感謝いたします。

## 付録：留学日誌

付録では留学中の授業の細やかな部分について記載する。

授業スケジュールは以下のとおりである。

		星期一	星期二	星期三	星期四	星期五
8:00~8:45 8:55~9:40	第一节				读写	
10:00~10:45 10:55~11:40	第二节			会话		会话
昼休み						
13:30~14:15 14:25~15:10	第三节	听力	会话	读写	辅导	听力
15:30~16:15 16:25~17:10	第四节	读写	听力			书法

※101-5班の授業スケジュール

- ・クラス分け試験によって分けられたクラスごとに授業スケジュールは変わる
- ・1クラス15人程
- ・授業は45分×2の90分授業である。間に10分間の休憩がある。
- ・101-5のクラスには日本人以外に、韓国人、ロシア人、フランス人、イギリス人、ポーランド人、ブルガリア人、タジキスタン人の学生と一緒に勉強していた。

授業スケジュールに記載されている各教科の詳細は以下の通りである。

i) 聴力 リスニング

教科書の本文や新出単語を、CDや先生の声聴きながら学習し、リスニング能力を高める授業である。試験もすべて、授業に沿ったリスニング形式で行われる。

ii) 读写 リーディング

主に長文を多く読み文章内の単語や文法を学び、その文章についての問題を解く。ほかの授業と比べて問題の数を多く熟すことによって、文法をしっかりと理解することが出来る授業形式である。また、毎週300字程度の教科書に沿った作文の作成が宿題として出るため、習った単語や文法を実践的に使用できる。

iii) 会話 スピーキング

会話形式の文章の読み上げや、2人以上のグループを作り教科書のテーマに即した発表や劇を多く行い、中国語を話すことに重点を置いている授業である。また、パワーポイントを使用して1人でプレゼンを行うことも多くあり、授業で習った単語や文法を実用的に学ぶことができる。

iv) 辅导 チュートリアル

授業で解らない箇所や、予習、復習で解らなかった箇所を先生に質問することが出来る時間。一対一で質問ができるので、会話の練習にもなる。基本は自由参加のため、普段より学生数が少ない。

v) 书法

中国の伝統的な書道を学び、中国人の才芸や歴史的背景を理解する授業。漢数字の一や二から練習するため、日本人にとっては簡単な授業である。





